

定例記者会見資料



○日 時	平成31年3月8日(金) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期中期計画について [資料1] ・しまね地域研究センターの設立について [資料2] ・入学式について [資料3]
○資料提供項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試(前期日程)合格者の発表について [資料4] ・平成30年度学生表彰「島根県立大学賞」の授与について [資料5] <p>【浜田・松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試(後期日程)の実施及び志願状況について [資料6] <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回 防災講演会の開催について [資料7] ・日本骨髄バンクの中国四国地区普及広報委員・説明員研修会での発表について [資料8] ・ヘルスツーリズムセミナーの開催について [資料9] <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館新棟竣工式について [資料10] ・2019年度公開講座「椿の道アカデミー」について [資料11]

○行事予定	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業証書授与式及び学位記授与式について 浜田キャンパス ……………3月19日(火)11時00分～12時10分 @浜田キャンパス講堂 出雲キャンパス ……………3月14日(木)10時30分～11時20分 @出雲キャンパス体育館 松江キャンパス ……………3月15日(金)13時30分～14時30分 @松江キャンパス体育館 <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生FDサミット2019春 ……………3月21日(木・祝)～3月22日(金) @出雲キャンパス
-------	--

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス	企画調整室	TEL 0855-24-2201
出雲キャンパス	管理課	TEL 0853-20-0200
松江キャンパス	管理課	TEL 0852-26-5525

鳥根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 平成31年4月12日(金) 13:30から開催予定です。

平成 31 年 3 月 8 日
島根県立大学
企画調整室 福間
電話：0855-24-2201

公立大学法人島根県立大学第 3 期中期計画で目指す大学

目指す姿 「地域貢献・教育重視型大学」 日本一の地域貢献型大学
計画期間 2019 年度～2024 年度

1. 人材の育成・輩出

- 地域政策学部（仮）、国際政策学部（仮）の 2 学部 5 学科に改組。地域や世界で活躍する人材を育成
- 県内高校との信頼関係を醸成し、「高校と連携して地域の人材を共に育てる仕組み」を構築
- 県内入学者確保のため、専門高校生が受験しやすい仕組みや県内枠の拡充といった入試制度改革
- 人材の県内定着を図るため、地元企業や行政と協力しつつ、長期・事業創造型インターンシップの導入や第 2 新卒者向け支援に取り組む

県内入学者比率：全学 50%以上
県内就職率：全学 50%以上

2. 地域における知の拠点化

- しまね地域研究センターを設置し、島根県の地域課題に応える実践的な研究を推進
- 「地域活性化」「子育て」「観光」など地域貢献に主眼を置いた研究プロジェクトを支援
- 県内企業のアジア進出等を踏まえ、アジア全域の政治・経済・社会分野の研究を推進
- 各キャンパスの特色を活かした地域貢献の推進
- 研究成果の地域還元

3. 学生の地域貢献・国際交流

- 地域貢献活動や災害ボランティアなど学生の主体的な活動を支援するボランティアセンターの設置
- 短期研修から中期・長期の留学など国際交流プログラムの充実

公立大学法人島根県立大学第3期中期計画

はじめに

- ・この中期計画は、島根県が策定する「公立大学法人島根県立大学第3期中期目標」に定める目標を達成するため、公立大学法人島根県立大学が目標期間中の具体的な取組の内容、実施時期を定めるものである。
- ・公立大学法人島根県立大学では、理事長・学長のリーダーシップの下、中期計画に沿った大学改革を機動的かつ戦略的に実施する。

1. 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくりに関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・理事長を本部長とする大学改革本部（以下、「改革本部」とする。）を中心に、多様化する学生ニーズや地域からの要請に柔軟に応え、魅力ある大学づくりを迅速かつ戦略的に推進する。
- ・改革期間は、当面は以下のとおり中長期的に設定し、中期計画に定める取組については個別に実施時期を定めるものを除き、平成32(2020)年度までに検討・準備したうえで、平成33(2021)年度からの本格実施を目指す。

← 第3期中期計画期間 →									
平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)	平成36年度 (2024年度)	平成37年度 (2025年度)	平成38年度 (2026年度)	平成39年度 (2027年度)
改革準備期間			改革実施期間				改革見直し期間		

2. 大学の教育研究などの質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 教育

① 人材育成・組織の方向性

ア 総合政策学部

- ・「国際関係」「北東アジア」「社会経済」「地域政策」の4つのプログラムから各分野の専門知識を修得し、現代社会の諸課題にグローバルな視点からアプローチする方

法を学び、地域社会・国際社会の活性化と発展に寄与する人材を育成する。

なお、総合政策学部は、平成 32(2020)年度入学者選抜（平成 31(2019)年度実施）をもって学生の募集を停止する。

- ・平成 33(2021)年度に地域政策学部（仮称）、国際政策学部（仮称）の 2 学部を新設し、アドミッション、カリキュラム、ディプロマの 3 ポリシーを明確化し、受験生、学生、高校関係者、保護者に学部学科の特徴をわかりやすく示す。
- ・地域政策学部（仮称）に「地域経済経営学科（仮称）」「地域公共学科（仮称）」「地域活性学科（仮称）」を設置し、地域の課題を理解し、その解決方法を様々な角度から学び、地域の多分野で活躍する人材を育成する。特に地域活性学科（仮称）は、地域おこし協力隊などと連携し、全国に類を見ない、より実践的な人材の育成を図る。
- ・国際政策学部（仮称）に「国際政策学科（仮称）」「国際コミュニケーション学科（仮称）」を設置し、各国・地域の政治経済、文化等を理解し、グローバルな課題の解決方法を様々な角度から学び、外国語を駆使して国内外の多分野で活躍する人材の育成を図る。

イ 看護栄養学部

(7) 看護学科

- ・看護を実践する能力、相手を理解し協働する能力、地域の特性と健康課題を探究する能力の 3 つの能力を柱とし、「自ら考え行動できる、視野の広い専門職業人」を養成する。

(4) 健康栄養学科

- ・管理栄養士として必要な高度な専門的知識・技術を身につけ、高度な栄養指導を実践する能力、関連職種と連携して協働する能力、地域の特性と健康課題を探究し積極的に地域に参画する能力の 3 つの能力を柱とし、「自ら考え行動できる、視野の広い専門職業人」を養成する。

ウ 別科助産学専攻

- ・高度な助産実践能力、関係機関と連携・協働し主体的に行動できる能力、倫理的課題に対応できる能力を備え、地域に貢献できる助産師を養成する。

エ 人間文化学部

(7) 保育教育学科

- ・保幼小接続期を見通した教育やインクルーシブ教育など、複雑・多様化する保幼小

の現場の課題に的確に対応できる高い専門性と指導力・実践力を備えた人材を養成する。

(イ) 地域文化学科

- ・地域の文化への深い理解と愛着を持ち、フィールドワーク等の実践的な学びを通じて、主体的に地域の課題解決に取り組む姿勢と行動力を備えた人材を養成する。

オ 大学院

(ア) 浜田キャンパス：北東アジア開発研究科（博士前期課程、博士後期課程）

- ・日本を含む北東アジアについて歴史的社会的に深い理解を持ち、この地域の言語文化に通じ、北東アジア学・総合政策学の構築に資する研究分野や、地域社会を支える企業、公的機関などで活躍できる人材を育成する。
- ・浜田キャンパス新学部学科の完成年次(平成 36(2024)年度)に向け、再編について検討を進める。
- ・再編に向けた検討にあたっては、留学生や現職社会人（地方公務員等）の受け入れを広げる仕組みの構築や地域おこし協力隊との連携強化など、リカレント教育（生涯学習）の充実についても検討する。

(イ) 出雲キャンパス：看護学研究科（博士前期課程、博士後期課程）

- ・島根県の健康課題を深く理解し、保健医療福祉の質の向上に向けて主体的に探求できる研究能力を備え、地域医療を牽引する優れた看護実践者を養成する。
- ・現在の博士前期課程に加え、高度な看護を求める在学生や県内の医療機関の要請に応えるため、平成 31(2019)年度に博士後期課程を設置する。
- ・産科医の高齢化・減少等に対応するため、より専門性の高い助産師の養成が求められており、平成 32(2020)年度を目途として看護学研究科（博士前期課程）へ助産師養成の専攻分野を設置する。
- ・看護教育学の探求などを目的として、看護教育機関及び看護継続教育を実践する機関と連携し、看護教育の質向上に向けた教育研究に取り組むとともに、在学中はもとより島根県内看護職に対して入学前から支援を行う。

(ウ) 出雲キャンパス：健康栄養学研究科

- ・健康栄養分野においてより高度な専門的知識・技術を修得し、栄養専門職のリーダーとして地域・社会に貢献する管理栄養士の養成のため、看護栄養学部健康栄養学科の完成年次(平成 33(2021)年度)に向け、大学院の必要性について検討を進める。

(エ) 松江キャンパス

- ・人間文化学部の完成年次(平成 33(2021)年度)に向け、大学院の必要性について検討を進めるとともに、浜田キャンパスと松江キャンパスの大学院の連携の在り方につ

いても検討を進める。

カ 短期大学部

- ・今後の学生や就職先などのニーズの動向を分析し、学科のあり方や適当な定員規模の検証を行う。
- ・短期大学部の維持、発展を図るため、平成 31(2019)年度中に将来構想を策定する。

(7) 保育学科

- ・保幼小接続期を見通した教育やインクルーシブ教育など、保育士や幼稚園教諭に必要なとされる知識・技能の修得や現場実習での体験的な学びを通じて、豊かな人間性と実践力を備えた人材を養成する。

(イ) 総合文化学科

- ・「グローバルに考え、ローカルに活動する」人材の育成という理念を継承しつつ、文化の様々なあり方や人間がいかにか文化を受け継ぎながら生きているのかという学びを通じて、課題の設定力・展開力・探求力を備えた人材を養成する。

② 教育内容及び学生支援の充実

ア 入学者の受入れ

- ・意欲のある学生に選ばれる大学を目指し、大学の魅力化とその見える化を進める。
- ・教員や学生が高校の課題発見解決型学習に積極的に参画することなどを通して、県内高校との信頼関係を醸成し、高校と大学による協働活動のプログラム化といった「高校と連携して地域の人材を共に育てる仕組み」を平成 31(2019)年度中に構築するなど、高大連携を強化する。
- ・若者の県内定着につながる県内入学者確保のため、志願状況の分析や地域の意見を聞きながら、専門高校生が受験しやすい仕組みや県内卒の拡充といった入試制度の見直しについて、平成 33(2021)年度入学者選抜（平成 32(2020)年度実施）に向け学部学科ごとに検討する。

イ 教育課程の充実

- ・アドミッション、カリキュラム、ディプロマの3ポリシーを明確にし、それを達成するため各キャンパスの特色を活かした魅力ある教育の実践を図る。
- ・学生が積極的に地域や海外に出かけ、地域社会や海外の大学等と連携した学びや体験を得る機会の増加に向け、カリキュラムの工夫や研修の充実などを図る。

ウ 成績評価等

- ・ディプロマ・ポリシーで定めている知識・能力を学生に身につけさせるため、授業内容、到達目標、成績評価基準、授業計画等を明示したシラバスを充実させ、厳正な成績評価を実施する。

エ 教育の質及び教育環境の向上

- ・戦略的な大学運営を推進し、大学教育の質を保証するため、平成 31(2019)年度中に全学的な IR(インスティテューショナル・リサーチ)の制度構築に取り組む。
- ・学生による授業アンケートや教員間の授業公開など、教育内容の質を高めるための取組 (FD (ファカルティ・ディベロップメント)) を推進する。
- ・大学教職員の資質向上のための組織的な取組 (SD (スタッフ・ディベロップメント)) について、各キャンパス間で積極的に意見交換、企画立案を行い、教育を取り巻く環境の変化に対応できる能力の向上や戦略的な大学運営に必要となる高度で専門的な知識・技能の修得につながる取組を実施する。
- ・FD・SD 活動を通じて、より効果的な教職協働に向けた体制を検討・構築する。
- ・自己点検・評価に加え、法人評価委員会の評価や認証評価制度に基づく外部評価の結果を適切にフィードバックする。
- ・学生の語学力、情報処理力、人間力の向上を図るため、教養教育推進部門を整備する。
- ・自習スペースの確保や ICT 環境の整備など、学生の学習環境の一層の充実を図る。
- ・老朽化した施設・設備の修繕や適切な財産保全対策のみならず、学生にとっての利便性を高める施設・設備の整備方針を策定し、方針に沿った計画的な環境整備を進める。

オ 学生生活支援の充実

- ・学生が心身共に健康な大学生活が送れるように、保健管理センターと連携して健康管理面での支援を充実させる。
- ・学生のニーズを汲み取りその結果をフィードバックすることにより、学生生活への支援を充実させる。
- ・食事・栄養の面から学生を支援するため、平成 31(2019)年度中に学生食堂や売店の充実について検討する。
- ・障がいのある学生の支援に関する全学的な方針を策定し、学生が支障なく学生生活を送ることができるよう支援を充実させる。

カ キャリア支援の充実

- ・各キャンパスキャリアセンターを中心として、学生の個性と希望を踏まえた上で、キャリア支援プログラムを実施し、学生の進路決定を支援する。
- ・地元企業や行政と協力しつつ、長期・事業創造型インターンシップの導入や、第二新卒者向け支援の充実など、地域の担い手となる人材の県内定着に取り組む。
- ・教職センターにおいて教職課程を一元的に管理し、現場実習の充実や教育関係機関との連携強化等を通じて、学生の免許・資格取得及び進路決定を支援する。

キ 経済的支援

- ・学生の経済的負担の軽減を図るため、学内奨学金制度を充実させ、授業料減免制度の適切な運用、外部奨学金獲得の支援強化等を図る。

(2) 研究

① 研究活動の充実及び研究成果の地域への還元

- ・これまでの研究の蓄積を生かし、研究力の一層の向上を目的とした研究支援や、地域貢献に主眼を置いた研究プロジェクトを推進するための支援策の創出などにより、さらなる研究活動の充実・発展を図る。
- ・地域のニーズに応える研究を推進し、研究の成果は、学部や大学院の授業に生かすとともに、地域との共同研究やシンポジウムの開催などを通じて地域に還元する。
- ・北東アジア地域の研究にとどまらず、県内企業のアジア各地の動向等を踏まえ、アジア全域の政治・経済・社会分野に関する研究を全学的に進める。

② 研究実施体制などの充実

- ・島根県が抱える課題に応える実践的な研究を推進するため、平成 31(2019)年度にしまね地域研究センター（仮称）を設置する。
- ・国際社会の構造の変化に伴い生じる新たな政策課題や文化的な変容、企業・地域社会への影響など、グローバルな課題を複合的に研究するため、平成 35(2023)年度を目途としてしまね地域研究センター（仮称）と北東アジア地域研究センターを統合し、国際地域研究センター（仮称）の設置を検討する。
- ・各キャンパスの特性に合わせた研究を推進するため、キャンパス単位での研究体制を整備する。
- ・公正な研究活動が行われるよう必要な体制を整備し、毎年度、不正防止に関する取組計画を策定のうえ、研究活動における倫理研修、研究費に関する内部監査等を行

う。

③ 研究費の配分及び外部競争的資金の導入

- ・教員研究費については、平成 31(2019)年度から従来の配分方法や学長裁量経費のあり方を見直し、若手研究者や特定プロジェクトへの支援を充実させる。
- ・科学研究費補助金等の外部資金の申請率、採択率を向上させるため、充実した支援体制を構築する。

(3) 地域貢献

① 県内就職率の向上

- ・地元企業や行政と協力しつつ、長期・事業創造型インターンシップの導入や、第二新卒者向け支援の充実など、地域の担い手となる人材の県内定着に取り組む。(再掲)

② 地域と協働した社会貢献の推進

- ・各キャンパスの特色を活かした地域貢献の推進に向け、地域連携推進センターの機能強化を図る。
- ・しまね地域研究センター(仮称)、地域連携推進センターの役割分担を明確にし、自治体、県内中小企業、NPO 法人、中山間地域研究センター、地域おこし協力隊などと連携して地域の課題解決に取り組む。
- ・学生が主体的に行う地域貢献活動や災害ボランティアなどを支援するための包括的ボランティアセンターの設置を検討するなど、学生の積極的な社会貢献を推進する体制の整備を図る。

③ 県民への学習機会などの提供

- ・地域に開かれた大学として、県民のニーズに対応した公開講座、講演会、講習、専門職向けのリカレント講座の開催など、学習機会を充実させる。

(4) 国際交流

① 学生の国際交流の促進

- ・異文化体験や海外企業研修等の短期研修から、提携校への中期・長期の留学など、国際交流プログラムの充実を図る。

② 地域との国際交流の促進

- ・ 日本文化研修や交流授業などを通じ、地域の文化、歴史、伝統などを知ってもらい、留学生と地域の人たちとの交流を促進する。

③ 海外の大学などとの交流促進

- ・ 共同研究、国際シンポジウムなどの学術交流や、交換留学、語学研修などの教育交流を通じて協定締結大学等との交流を促進する。

3. 自主的、自律的な組織・運営体制の確立に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) ガバナンス改革の推進

- ・ ガバナンス体制の整備、効率的・合理的な運営のための組織・人員配置等の見直しに向け、改革本部を中心とした大学改革の推進を図る。

(2) 経営基盤の強化

① 適正な財務運営の推進

- ・ 今後新たに発生する事業経費を加味した大学運営シミュレーションに基づく中長期的な経営計画に沿って、大学運営の健全化に向けた自己財源の充実や運営経費の抑制などに努める。

② 自己財源の充実

- ・ 外部資金の獲得に向けた体制を強化し、研究及び教育支援の充実を図る。
- ・ 独自財源の安定的な確保に向け、入学定員の確保、施設使用料等の適切な設定、寄附金その他の収入の増加に向けた取組を実施する。

③ 運営経費の抑制

- ・ 効率的・合理的な大学運営を常に意識し、事業、制度、業務の聖域なき見直しにより、経費の抑制に努める。

④ 監査体制の充実

- ・ 監事監査、内部監査、会計監査人監査などの実施により、大学運営の健全化を確保し、かつ、社会に対する説明責任を果たす。

4. 評価制度の充実及び情報公開の推進に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 自己点検・評価、外部評価の実施及び評価結果の活用

- ・自己点検・評価に加え、法人評価委員会の評価や認証評価制度に基づく外部評価の結果を適切にフィードバックする。(再掲)

(2) 情報公開の推進

- ・情報管理や個人情報保護、情報セキュリティポリシーの規程を適正に運用し、必要な情報を積極的に公開・開示する。

5. その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置

(1) 広報広聴活動の積極的な展開など

- ・県民に信頼され評価される大学、県民に開かれた大学として、大学の取組や目指す将来像などを分かりやすく伝えるため、積極的な広報を展開する。
- ・幅広く県民等からの意見を聴き、法人、大学運営に反映する。

(2) 施設設備の維持、整備などの適切な実施

- ・老朽化した施設・設備の修繕や適切な財産保全対策のみならず、学生にとっての利便性を高める施設・設備の整備方針を策定し、方針に沿った計画的な環境整備を進める。(再掲)

(3) 安全・危機管理体制の確保

- ・健康管理や防犯に関する意識啓発、地域や関係機関と連携した取り組みなど安全衛生管理対策や事故防止対策を適切に行い、学生等の安全安心を確保する。
- ・危機管理マニュアルを基本として迅速・柔軟に対応できるよう、学長をトップとした危機管理に万全を期する。

(4) 人権の尊重

- ・教職員及び学生を対象にした人権に関する研修を実施する。
- ・学内におけるハラスメント行為防止やその早期対応のため、相談体制を充実するとともに、苦情相談窓口や対応措置を学生や教職員に周知徹底する。

数値目標

指標	平成 36(2024)年度 目標値
入学者に占める県内学生の割合	全学：50%以上
国家試験合格率 (看護師、保健師、助産師、管理栄養士)	出雲キャンパス：100%
就職率及び県内就職率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職率 全学：第2期平均就職率を上回る ・ 県内就職率 全学：50%以上
海外への派遣学生数 (留学生、研修等)	全学：年間 180 人以上
海外からの受入学生数 (留学生、研修等)	全学：年間 100 人以上
教員の地域貢献活動取組数	全学：年間 600 件以上
科研費の申請率	全学：60%以上

6. 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

(1) 予算（人件費の見積りを含む。）（平成 31(2019)年度～平成 36(2024)年度）

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	11,792
特殊要因経費補助金	698
自己収入	8,058
授業料及び入学金検定料	7,589
その他収入	469
外部補助金収入	296
寄附金収入等	200
前中期目標期間繰越積立金取崩収入	299
計	21,343
支出	
業務費	20,916
教育研究経費	3,819
人件費	14,107
一般管理費	2,990
施設整備費	427
計	21,343

注1) 人件費の見積額は、役員報酬、教職員給料、諸手当（退職手当は除く。）及び法定福利費に相当する費用を試算している。

注2) 運営費交付金は、県の財政状況を踏まえ、各年度の県の予算において決定されるものである。

運営費交付金＝「標準経費分」（「標準経費」－「標準収入」）＋「法人経常経費分」＋「退職手当分」

- ・標準経費：前年度当初予算額を基礎とし算定
- ・標準収入：収容定員等の客観的な指標に基づき理論的な収入を設定
- ・法人経常経費分：法人化に伴う経費等として前年度当初予算額を基礎とし算定
- ・退職手当分：各事業年度における退職者の見込みに基づき所要額を設定

※退職手当は、公立大学法人島根県立大学の規程に基づき支給し、当該年度において運営費交付金として所要額が財源措置されることから、収入及び支出から除く。

注3) 特殊要因経費補助金は、大規模修繕、大規模システム整備等の施設又は設備の整備に要する経費、法人の責によらない突発的な経費等に対して交付されるが、県の財政状況を踏まえ、

各年度の県の予算において決定されるものである。

注4) 外部補助金収入は、文部科学省補助金、大学入試センター委託費等

注5) 寄附金収入等は、受託研究収入、旧財団法人北東アジア地域学術交流財団の解散に伴う使途特定寄附金等

(2) 収支計画 (平成31(2019)年度～平成36(2024)年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
經常費用	21,164
業務費	17,681
教育研究経費	3,574
人件費	14,107
一般管理費	2,801
減価償却費	678
財務費用	4
収入の部	
經常収益	20,865
運営費交付金収益	11,584
授業料収益	6,573
入学金検定料収益	1,016
受託研究等収益	151
寄附金収益	200
補助金等収益	686
その他収益	242
固定資産見返運営費交付金等戻入	234
固定資産見返物品受贈額戻入	179
純利益 (損失)	▲299
前中期目標期間繰越積立金取崩収入	299
総利益	0

(3) 資金計画 (平成 31(2019)年度～平成 36(2024)年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	21,343
業務活動による支出	20,469
投資活動による支出	704
財務活動による支出	170
次期中期目標期間への繰越金	0
資金収入	21,343
業務活動による収入	20,617
運営費交付金による収入	11,792
授業料及び入学金検定料による収入	7,589
受託事業等収入	151
寄附金収入	200
補助金等収入	415
その他の収入	470
投資活動による収入	427
施設費補助金による収入	427
財務活動による収入	0
前中期目標期間からの繰越金	299

7. 短期借入金の限度額

(1) 短期借入金の限度額

5. 2億円

(2) 想定される理由

運営費交付金の交付時期と資金需要の期間にずれが生じた場合、事故の発生により緊急に必要なが生じた場合等に借入を行う。

8. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

なし

9. 剰余金の使途

決算において、剰余金が発生した場合は、教育、研究及び業務運営の改善に充てる。

10. その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

(1) 施設及び設備に関する計画

施設及び設備に関する計画	予定額（百万円）
3キャンパスの施設及び設備の改修経費等	427

(2) 人事に関する計画

① 教職員数の適正管理

- ・効率的・合理的な大学運営のため、組織・人員体制の見直しを進める。
- ・事務局職員については、県からの派遣職員及び法人プロパー職員の適切な配置を行う。

② 事務局職員の人材育成

- ・多様化、高度化する大学運営に対応できる汎用性と専門性を兼ね備えた職員を育成するため、職格や業務に応じた研修制度の充実、各種団体との人事交流等を推進する。

(3) 積立金の使途

教育、研究及び業務運営の改善に充てる。

(4) その他法人の業務の運営に関し必要な事項

なし

平成31年3月8日
公立大学法人島根県立大学
担当：浜田キャンパス地域連携課
河部、藤原
電話：0855-24-2396

しまね地域研究センターの設立について

島根県立大学は、多様化する地域からの要請に応え、一層の地域貢献を推進していくことを目指しています。

その一環として、地域研究の充実を図っていくため、大学の附置研究所である「しまね地域研究センター」を設立することとしました。

「しまね地域研究センター」は、自治体、県内中小企業、NPO法人、島根県中山間地域研究センター等の関係機関と緊密に連携を図りながら、島根県が直面する課題や地域文化の研究等に取り組んでいきます。

概要は下記のとおりです。

記

1 主な取り組み

(1) プロジェクト研究の実施

初年度は、次の諸課題を計画

「観光」

「子育て支援」

「地域活性化」

「隠岐・中山間地域」

「地域教育」

(2) 自治体等、関係機関との連携・協力

(3) 海士町サテライトオフィスの設置

(4) 自治体等との共同研究

(5) 研究成果の公開・発表

2 設立の時期

平成31年4月1日

3 設置場所

島根県立大学浜田キャンパス

平成 31 年 3 月 8 日
島根県立大学 浜田キャンパス
総務課 岩本・今川 TEL : 0855-24-2200
島根県立大学 出雲キャンパス
教務学生課 坂田・澤田 TEL : 0853-20-0200
島根県立大学 松江キャンパス
管理課 原・有馬 TEL : 0852-26-5525

島根県立大学 入学式について

平成 31 年度の本学入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせします。

記

【浜田キャンパス（総合政策学部・大学院北東アジア開発研究科）】

日 時 平成 31 年 4 月 3 日(水) 11:00～12:00（新入生入場 10:30 まで）

場 所 島根県立大学浜田キャンパス 講堂（浜田市野原町 2433-2）

当日午前 10 時から関係資料を講堂受付にて配布します。

【出雲キャンパス（看護栄養学部・別科助産学専攻・大学院看護学研究科）】

日 時 平成 31 年 4 月 4 日(木) 10:00～11:10（新入生入場 9:45 まで）

場 所 島根県立大学出雲キャンパス 体育館（出雲市西林木町 151）

当日午前 9 時から関係資料を体育館受付にて配布します。

【松江キャンパス（人間文化学部・短期大学部）】

日 時 平成 31 年 4 月 4 日(木) 13:30～14:40（新入生入場 13:10 まで）

場 所 島根県立大学松江キャンパス 体育館（松江市浜乃木 7-24-2）

当日午後 12 時 30 分から関係資料を体育館受付にて配布します。

平成 31 年 3 月 8 日
 島根県立大学アドミッション室
 担当者 松崎
 電 話 0855-24-2203

一般入試合格者の発表について

平成 31 年度一般入試の合格者を発表しましたので、お知らせします。

■島根県立大学（平成 31 年 3 月 5 日・6 日発表）：前期日程

	定員①	志願者数②	受験者数③	合格者数④	志願倍率 ②／①	実質倍率 ③／④
総合政策学部 総合政策学科 (3 教科型)	60 名	345 名	345 名 (266 名)	138 名	5.8 倍	2.5 倍
総合政策学部 総合政策学科 (5 教科型)	60 名	220 名	220 名 (186 名)	92 名	3.7 倍	2.4 倍
看護栄養学部 看護学科	40 名	119 名	84 名	51 名	3.0 倍	1.6 倍
看護栄養学部 健康栄養学科	19 名	65 名	51 名	22 名	3.4 倍	2.3 倍
人間文化学部 保育教育学科	20 名	98 名	82 名	28 名	4.9 倍	2.9 倍
人間文化学部 地域文化学科	30 名	122 名	97 名	35 名	4.1 倍	2.8 倍
【合計】	229 名	969 名	879 名	366 名	4.2 倍	2.4 倍

注：（ ）内は個別学力検査を受験した受験者数です。

総合政策学部では、個別学力検査を受けなかった場合でも大学入試センター試験の成績のみを利用し合否判定を行います。

■島根県立大学短期大学部（平成 31 年 2 月 22 日発表）

	定員①	志願者数②	受験者数③	合格者数④	志願倍率 ②／①	実質倍率 ③／④
保育学科	20 名	81 名	80 名	33 名	4.0 倍	2.4 倍
総合文化学科	20 名	79 名	79 名	40 名	4.0 倍	2.0 倍
【合計】	40 名	160 名	159 名	73 名	4.0 倍	2.2 倍

以上

平成 31 年 3 月 8 日
 島根県立大学浜田キャンパス
 担当：教務学生課 矢富 孔寅
 部田 中希
 電話：0855-24-2213

平成 30 年度学生表彰
 「島根県立大学賞」の授与について

平成30年度「島根県立大学賞」を以下のとおり授与します。これらの賞は、本学の学生が、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の範となる行動を行い、又は優秀な成果を挙げた場合等に表彰を行うものです。

表彰部門及び選考対象

- (1) 学術部門 公表された学術研究成果
- (2) 芸術部門 文学、美術、音楽、演劇等の分野において発表された作品
- (3) スポーツ部門 公的な大会における上位入賞その他これに準ずる場合
- (4) 文化活動部門 本学及び学外における課外文化活動の成果発表、展示等
- (5) 社会活動部門 ボランティア活動、人命救助その他の社会の範となる活動を行った場合

「平成 30 年度島根県立大学賞」 浜田キャンパス受賞者（個人：2名、団体：3組）

(1)

受賞者	総合政策学部 4年生 <small>まつなが りょうたろう</small> 松永 稜太郎
部門	社会活動
功績等	島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM 2016」にて共感大賞を受賞したプランを実現化する形で起業し、3年次に缶詰バー「mr. kanso 浜田店」を開店した。過去に缶詰製造で栄えた浜田市の産業再興、店が世代や地域を超えた交流の場となることで商店街の活性化につながり、地域社会に多大な貢献を行った。

(2)

受賞者	総合政策学部 4年生 <small>じょうだい みほ</small> 上代 美帆
部門	社会活動
功績等	2年次より浜田市金城町の「かなぎシェアハウス」へ入居し、地域行事の参加、中学生の学習支援、通学路での見守りなどの地域活動に取り組んだ。また、美又温泉を事例に温泉地振興に関する研究を行い、考案した染め物を制作する体験型観光プランは島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM 2017」にて優秀賞と共感大賞を受賞。2018年には自ら同体験型観光プログラムを企画・実践、地域住民と連携して染め物の展示会を開催するなど、地域社会に多大な貢献を行った。

(3)

受賞者	大田市三瓶町志学地区の災害復興支援に取り組んだ井上厚史ゼミ大田班 4 名
部門	社会活動
功績等	2018 年 4 月 9 日に発生した島根県西部地震の被災地であった大田市波根地区でのボランティア活動を皮切りに、同市の激甚被災地であった三瓶町志学地区の災害復興に取り組んだ。その間、定期的に災害復興について話し合うミーティングの開催、地域の祭りへの参加、シンポジウムでの事例発表、志学地区全戸の聞き取り調査をまとめた報告会などを通して、研究成果を地域に積極的に公開し、地域社会に多大な貢献を行った。

(4)

受賞者	海の家Re：rie
部門	社会活動
功績等	2017 年の立ち上げ以来、益田市の津田海岸に面する古民家で海の家を開き、飲食品やビーチサービスの提供、イベントの開催、地元の子どもたちへの教育活動などを展開している。2018 年度には地元企業 28 社からの協賛を獲得するとともに、クラウドファンディングによる資金調達を行うなど、学生主体の実践的活動により地域社会に多大な貢献を行った。

(5)

受賞者	しまね防犯サークルS C O T
部門	社会活動
功績等	2011 年の設立以来、浜田市内の夜間パトロール、浜田警察署から委託を受けた「はまだ防犯の都鍵かけ推進隊」として自転車や住宅の施錠呼びかけなど、継続的な活動で地域社会に多大な貢献を行った。 また、学生主体の活動が代々の部員に受け継がれていることが広く認められ、全国防犯協会連合会の「功労ボランティア団体（社会安全貢献賞）」の表彰を受けた。

➤ 表彰式

日時：平成 31 年 3 月 19 日（月） 11:00～12:10

場所：島根県立大学浜田キャンパス 講堂

（〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2）

※平成 30 年度卒業式にあわせて実施

➤ 問い合わせ先

所属：島根県立大学浜田キャンパス教務学生課 部田中希

電話：0855-24-2213 FAX：0855-23-7352

電子メール：h-kyoumu@u-shimane.ac.jp

「平成 30 年度島根県立大学賞」 出雲キャンパス受賞者（団体：2 組）

(1)

受賞者	学生FD～ ^{えにし} 縁～
部門	文化活動
推薦理由	
<p>平成 27 年 7 月の立ち上げ以来、「学生と教職員とともに取り組む魅力ある大学づくり」を活動理念として、大学内外で積極的な活動を展開している。</p> <p>毎年、新入生登録相談会、学生生活お悩み相談会、しゃべり場の開催、教職員紹介冊子の作成・配布、学生FDサミットへの参加、他大学との交流などを実践。平成 30 年 3 月には新入生の集いを開催した。</p> <p>学生FD～縁～の活動は、人と人とを繋ぐ活動であり、本学の学びの文化を醸成する活動である。</p>	

(2)

受賞者	献血サークル あかえんぴつくん
部門	社会活動
推薦理由	
<p>平成 14 年の発足以来、献血への協力と移植医療の普及啓発活動に取り組んできた。</p> <p>特に骨髄移植の適応疾患である「白血病」「再生不良性貧血」「悪性リンパ腫」等の勉強会を実施し、平成 30 年度出雲キャンパス学園祭（つわぶき祭）では、綿密な事前準備を行い、若年層を中心に 42 名の登録という驚異的な結果を残した。これは、島根県において 1 年間の骨髄ドナー登録者の 8 分の 1 を越える数字であり、ヘルスサイエンスセンター島根理事長より感謝状を贈呈され、このことが各地方紙でも大きく取り上げられた。</p> <p>同様の活動を島根大学医学部学園祭でも開催。サークル所属の学生 5 名が骨髄ドナー登録説明資格養成研修の受講を予定するなど、今後の活動にも期待できる。</p>	

➤ 表彰式

日時：平成 31 年 3 月 14 日（木）9:30～

場所：島根県立大学出雲キャンパス

（〒693-8550 島根県出雲市西林木町 151）

※平成 30 年度卒業式にあわせて実施

➤ 問い合わせ先

所属 島根県立大学出雲キャンパス教務学生課 坂田栄一郎

電話：0853-20-0200 FAX：0853-20-0201

電子メール：i-kyoumu@u-shimane.ac.jp

「平成 30 年度島根県立大学学長賞」「平成 30 年度島根県立大学短期大学部学長賞」
松江キャンパス受賞者（個人：1名、団体：2組）

(1) 平成 30 年度島根県立大学短期大学部学長賞

受賞者	健康栄養学科 2 年 野津 由起絵
部門	社会活動
推薦理由	京都市が募集している「四字熟語人権マンガ」に応募し、平成 30 年度個人賞の最高位である京都市長賞を受賞した。

(2) 平成 30 年度島根県立大学短期大学部学長賞

受賞者	書道サークル（5名）
部門	芸術
推薦理由	平成 30 年度第 42 回全国学生書写書道展・公募の部(自由課題)において、部員全員が受賞するという快挙を成し遂げた。特に、部長の安井香穂は「優秀特選」に選ばれており、これは「文部科学大臣賞」をはじめとする「特別賞」各賞に次ぐ成績である。

(3) 平成 30 年度島根県立大学学長賞・平成 30 年度島根県立大学短期大学部学長賞

受賞者	キラキラドリームプロジェクト 2018 ラオス広報部（12名）
部門	文化活動
推薦理由	キラキラドリームプロジェクト（本学学生が主体となって企画するプロジェクトを大学が支援する事業）2018 に採択されたラオス広報部は、学園祭やしまね大交流会参加など地域の人々にラオスの現状を知ってもらう活動に加え、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会「絵本を届ける運動」を通じた絵本の寄付といったラオスの子どもたちに対する教育分野での支援を行った。 また、平成 31 年 2 月に行われた JICA 中国主催「SDGs ってなに？ in 山陰～世界のことをジモトゴト、ジブンゴトへ～」および本学主催「KENDAI 縁結びフォーラム」へも参加した。

➤ 表彰式

- (1) 野津由起絵さん、書道サークル 5 名（2 年）については平成 30 年度卒業式終了後、学科別授与式にて行う。

日時：平成 31 年 3 月 15 日（金）

場所：島根県立大学松江キャンパス

（〒690-0044 島根県松江市浜乃木 7-24-2）

- (2) キラキラドリームプロジェクト 2018 ラオス広報部 12 名（1 年）については平成 31 年度球技大会にて行う。

日時：平成 31 年 5 月 16 日（木）

場所：松江市総合体育館

（〒690-0826 島根県松江市学園南 1-21-1）

➤ 問い合わせ先

所属：島根県立大学松江キャンパス教務学生課 澤田史織

電話：0852-20-0216 FAX：0852-21-8150

電子メール：m-kyoumu@u-shimane.ac.jp

【資料6】

平成31年3月8日
島根県立大学アドミッション室
担当者 松崎
電話 0855-24-2203

平成31年度島根県立大学一般入試（後期日程）の実施及び志願状況について

1 試験日

- ・総合政策学部 総合政策学科 [浜田キャンパス] : 平成31年3月12日（火）
 - ・人間文化学部 地域文化学科 [松江キャンパス] : 平成31年3月12日（火）、13日（水）
- ※人間文化学部（保育教育学科）と看護栄養学部 [出雲キャンパス] は、前期日程のみの実施です。

2 個別学力試験科目

面接試験

※大学入試センター試験の成績と面接の成績により評価をおこないます。

3 募集人員・志願者数等

学科	募集人員 (a)	志願者数 (b)	志願倍率 (b/a)	昨年度実績	
				志願者数 (c)	志願倍率 (c/a)
総合政策学部 総合政策学科	25	182	7.28	288	11.52
人間文化学部 地域文化学科	10	146	14.60	76	7.60

4 合格発表について

- ・総合政策学部 総合政策学科 : 平成31年3月20日（水）10時
- ・人間文化学部 地域文化学科 : 平成31年3月20日（水）13時

5 取材について

取材を希望される報道機関は、前日までに下記担当者までお知らせください。

総合政策学部 総合政策学科 :

浜田キャンパス 教育支援部長 中澤 (TEL : 0855-24-2282)

人間文化学部 地域文化学科 :

松江キャンパス 教務学生課 柴田、伊藤 (TEL : 0852-20-0215)

平成31年3月8日
島根県立大学出雲キャンパス
担当：看護栄養学部看護学科
講師 渡邊克俊
(TEL) 0853-20-0200 (代表)

第2回 防災講演会の開催について

- 1 目的** 土砂災害危険区域である出雲北山山系を背にして暮らす鳶巣地区住民のみなさんと災害時に指定避難所となっている島根県立大学出雲キャンパスの学生が、一緒になって地震と降雨による地すべり災害の仕組みや災害時の避難行動について学び、災害時における協働活動について考えます。
- 2 日時** 平成31年3月10日（日） 10時～11時50分
- 3 場所** 鳶巣コミュニティーセンター 集会室 出雲市東林木町890-4
- 4 主催者** 島根県立大学出雲キャンパス 災害研究会 代表 長島佳亮（看護学科2年）
鳶巣地区災害対策委員会 委員長 園山博良
- 5 内容** 別添「第2回 防災講演会」チラシのとおり
- 6 参加者** 学生：（2年生）長島佳亮 ほか災害研究会のサークル員
教員：祝原あゆみ、渡邊克俊

7 講演会開催までの経緯

学生サークル「災害研究会」は、地域の防災力向上のため、鳶巣コミュニティーセンターと協働して防災に関する研修会を定期的に開催してきました。昨年10月には、鳶巣地区災害対策委員会と共催で第1回防災講演会を開催しました。土木建築や設計の専門家を講師にお招きして土砂災害のメカニズムを勉強するとともに、地域住民の方々と一緒に避難行動のタイミングなどについて考えました。今回は、「地震と降雨による地すべり災害」をテーマに、島根大学総合理工学部地球科学科の汪発武教授にご講演をお願いしています。また、本学の学生が、「学生による地域防災活動の成果」として、サークル結成から今日までの活動について発表をします。鳶巣地区災害対策委員会の皆さんをはじめ、鳶巣地区の多くの方々にご参加いただきます。（詳細は、チラシをご参照ください）



島根県立大学
出雲キャンパス



島根県立大学
マスコットキャラクター
オロリン

主催：島根県立大学出雲キャンパス 鳶巣地区災害対策委員会

第2回 防災講演会

日時

平成31年 3月10日(日)

時間

午前10時～11時50分

場所

鳶巣コミュニティセンター

〒693-0074 島根県出雲市東林木町890-4番地

TEL (0853)21-0174 FAX (0853)21-0176

もしもの時に、自分たちでできることを身につけておきましょう！
お忙しい時期ですが、みなさんの参加をお待ちしています。

スケジュール

参加費
無料

10:00～10:15 学生による地域防災活動の成果
島根県立大学 看護栄養学部
長島 佳亮 学生サークル「災害研究会」

10:20～11:50 「地震と降雨による地すべり災害」
島根大学総合理工学部地球科学科 汪発武教授
博士(理学)
日本地すべり学会 国際部 副部長
国際地盤災害軽減機構 理事長、事務局長
島根大学ユネスコチェア「地球環境災害軽減」代表



連絡先：島根県立大学出雲キャンパス 担当者：渡邊
お問い合わせ先：〒693-8501 出雲市西林木町151
Tel:0853-20-0520, FAX:0853-20-0201

平成31年3月8日

島根県立大学出雲キャンパス

担当：看護栄養学部看護学科

講師 渡邊克俊

(TEL) 0853-20-0200 (代表)

日本骨髄バンクの中国四国地区普及広報委員・説明員研修会で発表

- 1 **目的** 競泳の池江璃花子選手が白血病を告白し注目を浴びている骨髄バンクの中国四国地区普及広報委員・説明員研修会で、本学学生サークルの献血サークル「あかえんぴつくん」が活動成果について発表をします。
- 2 **日時** 平成31年3月16日（土） 13時～16時
- 3 **場所** ピュアリティまきび 岡山県岡山市北区下石井2丁目6-41
- 4 **主催者** 島根県立大学 出雲キャンパス
献血サークル「あかえんぴつくん」 代表 溝尻寧々（看護学科2年）
- 5 **内容** 別添「平成30年度 地区普及広報委員・説明員研修会の開催について（ご案内）」にある研修会の中で、成果発表を行います。
- 6 **参加者** 学生：（2年生）溝尻寧々、岡村咲和、多田久美子、山西希実、石原歩華
教員：小田香澄、渡邊克俊

7 支援活動までの経緯

献血サークル「あかえんぴつくん」は、献血と骨髄バンクの普及啓発のため、ドナー登録希望者へ説明する説明員資格を取得し、大学祭などで骨髄ドナー登録を呼びかける活動をしてきました。サークル員9名の内の7名が説明員資格を取得し、若年層への普及啓発活動を熱心に行った実績と、一度の骨髄ドナー登録会で42名の登録者があったことに対し、しまねまごころバンクから感謝状の贈呈を受けました。このことが、日本骨髄バンクの協議会で話題となり、「あかえんぴつくん」に3月16日に岡山市で開催される中国四国地区の普及広報委員・説明員研修会で活動成果発表の機会をいただきました。

また、競泳の池江璃花子選手が白血病を告白し、骨髄バンクやドナー登録に注目が集まる中、「池江璃花子選手応援ドナー登録キャンペーン」をサークルとして企画しているところです。



島根県立大学
出雲キャンパス



島根県立大学
マスコットキャラクター
オロリン

平成 30 年 11 月吉日

地区普及広報委員・説明員の皆様

公益財団法人 日本骨髄バンク
広報渉外部長 大久保 英彦

「平成 30 年度 地区普及広報委員・説明員研修会」の開催について（ご案内）

平素は骨髄バンク事業の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、日本骨髄バンクはドナー登録者数 49 万人、移植例数は 2 万 2 千例に達しており、これも地区普及広報委員および説明員をはじめとする関係者の皆様のご尽力の賜物と、心より感謝申し上げます。

さて、骨髄バンク事業を推進していくためには、ドナー登録希望者に骨髄バンク事業について十分にご理解いただくことが重要であり、地区普及広報委員・説明員の皆様の知識や説明技術の向上が必要不可欠です。そのため、下記の通り研修会を開催することとなりました。ご多用中とは存じますが、今年度末は説明員資格の更新時期でもありますので、何卒ご出席いただきますようお願い申し上げます。

つきましては、別紙 2「平成 30 年度 地区普及広報委員・説明員研修会 出欠回答書」に必要事項を記入の上、各会場開催日の 1ヶ月前まで（東京会場のみ 12/14（金）まで）に FAX または郵送にてご返信いただきますよう、お願い申し上げます。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 日 程 | 別紙 1 のとおり |
| 2. 会 場 | 別紙 1 のとおり |
| 3. 時 間 | 13：00 ～ 16：00 （岡山会場は 12：30～15：30） |
| 4. 対象者 | 地区普及広報委員および説明員 |
| 5. 交通費等 | 当法人規定により、交通費及び活動費を支給いたします
※当日、清算用紙を配布します
※原則、日帰りとしてさせていただきます。交通事情等で前泊又は後泊が必要な場合は、「出欠回答書」通信欄に前泊・後泊の有無をご記入下さい |

以 上

担 当
日本骨髄バンク広報渉外部
ドナー登録会担当
TEL：03-5280-8111（平日 9:00～17:30）
FAX：03-5280-0101

平成 31 年 3 月 8 日

島根県立大学出雲キャンパス

担当：大森真澄（看護栄養学部/看護学科）

電話：0853-25-9235

ヘルスツーリズムセミナーの開催

1. 目的・理由

2016 年に島根県立大学出雲キャンパスにおいてヘルスツーリズム研究会を立ち上げ、様々なチームを編成し「健康と旅行」との関連について研究しています。ヘルスツーリズムを通して、より健康に過ごすことへの提案や地域活性に繋がればと考えております。

そこで今回、ヘルスツーリズム研究会のいままでの活動報告と開発商品の展示・販売、さらに今後のヘルスツーリズムの可能性についての講演を含めたセミナーを企画いたしました。

2. 日時

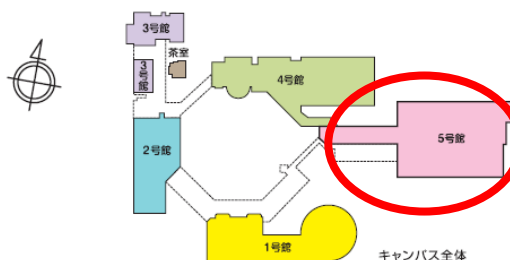
2019 年 3 月 18 日（月）13 時 30 分から 16 時 30 分

3. 場所

島根県立大学出雲キャンパス

（出雲市西林木町 151）

中講義室・学生ラウンジ



4. 主催者

島根県立大学ヘルスツーリズム研究会

5. 内容

別紙のとおり

6. 参加者

ヘルスツーリズムに興味のある方や観光協会、旅行業関係者等

7. 参加方法：事前申込はE-mailまたはファックス、電話で受け付けています。

申込がなくてもご参加いただけます。

参加費：無料

主催：島根県立大学ヘルスツーリズム研究会

地域



島根県立
大学

ヘルスツーリズム セミナー

参加
無料

● 日時

2019年3月18日(月)
13:30~16:30

● 対象

島根県内の観光協会、旅行業関係者
ヘルスツーリズムに興味のある方

● 会場

島根県立大学出雲キャンパス
中講議室&学生ラウンジ

(〒693-8550 島根県出雲市西林木町151番地)

荒川雅志 氏

国立大学法人 琉球大学
観光産業科学部 教授

日本型ヘルスツーリズム研究・
ウェルネスツーリズム研究の
第一人者/海洋療法学者



● プログラム

1部

13:30~
14:30

講演「ヘルスツーリズムの今後の可能性
ーヘルスからウェルネスへ」

講師：荒川雅志 氏

(琉球大学ウェルネス研究分野 教授)

報告会

14:40~15:40

「島根県立大学における
ヘルスツーリズムの実践」

- ①糖尿病療養者のメンタルヘルス
- ②認知症介護家族のメンタルヘルス
- ③マイナスをプラスに転じる旅
(働き盛り世代のメンタルヘルス)
- ④親子で健康アップ

体験学習

15:40~16:30

測定コーナー

きりつ名人による自律神経機能測定
唾液によるストレス測定、抗酸化測定

えごま関連商品の紹介

ヘルシーな600kcalの食事の紹介

書籍・作品展示/紹介など

2部

14:40~
16:30

● お申込み・お問い合わせ

島根県立大学出雲キャンパス ヘルスツーリズム研究会
(担当：藤田・小田・大森)

〒693-8550 出雲市西林木町151

● Mail: i-health@u-shimane.ac.jp

● Tel: 0853-20-0200 (代表)

● Fax: 0853-20-0532

お問い合わせ・お申し込みはこちら→→→



平成 31 年 3 月 8 日
島根県立大学松江キャンパス
管理課 原・藤原
TEL : 0852-20-0270

島根県立大学松江キャンパス 新棟竣工式について

本学松江キャンパスは、四年制学部の創設及び短期大学部の改編に伴い、図書館新棟の建設を進めて参りましたが、この度、無事完成の運びとなり、下記のとおり新棟竣工式を執り行いますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 平成 31 年 3 月 20 日 (水) 10:00～10:45
- 2 場 所 島根県立大学松江キャンパス 図書館新棟 (松江市浜乃木 7-24-2)
- 3 式次第
 - (1) 定礎式 (定礎版設置)
 - (2) 竣工式開会の辞
 - (3) 理事長挨拶
 - (4) 工事経過報告
 - (5) 島根県総務部長挨拶
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 来賓紹介
 - (8) 感謝状贈呈
 - (9) テープカット
 - (10) 閉式の辞



新棟俯瞰図 (建築面積 1,838 m²)

2019年3月8日
島根県立大学松江キャンパス
地域連携課
担当：藤原
電話：0852-28-8322

2019年度 公開講座「椿の道アカデミー」の開催について
(松江キャンパス)

1. 目 的 島根県立大学松江キャンパスでは、地域の皆様の生涯学習の場を提供するため、2019年度公開講座「椿の道アカデミー」を開講いたします。
2. 期 間 2019年5月～2020年2月 (詳細はパンフレットを参照のこと)
3. 会 場 島根県立大学松江キャンパス 体育館研修室 等
(詳細はパンフレットを参照のこと)
4. 申込受付 対 象 者：主に社会人の方
期 間：2019年4月1日(月)～2019年4月15日(月)
参加方法：郵便・FAX・メールでお申込みください。詳しくはパンフレットまたはホームページをご覧ください。
5. 受講料 無料
ただし、椿の道アカデミー会員として2,000円の登録料が必要です。
講座によりテキスト代など実費が必要な講座もあります。
6. 主 催 島根県立大学松江キャンパス
7. 内 容 総合文化講座、出雲神話の語る神話・伝説、柔道で健康生活！、しまね消費生活まちづくり講座、社会的養護と島根県の里親、など計16講座をご用意しています。受講対象は、社会人、小学生など各講座によります。パンフレットは松江市役所、公民館・図書館などの公共施設に3月下旬頃配布予定です。

13 表計算ソフトExcelの住所録とワープロソフトWordで作る年賀状 [全3回] (連携) まつえ市民大学連携講座

年賀状のソフトがなくても「Word」で作った文面と「Excel」で作った住所録を利用し、はがきサイズの紙に印刷することができます。「Word」と「Excel」を使って年賀状を作ってみませんか。

開催日・時間	プログラム	講師
① 10.5	ワードではがきの裏面を作成	小倉佳代子 本学非常勤講師
② 10.12 (土)	エクセルで住所録を作る	
③ 10.26	裏面の完成とエクセルの住所録を利用した宛名印刷	

対象 パソコンの基本操作ができる方。 定員 10名 会場 大会館第2PC 演習室

*初回にテキストを販売する予定です。

14 県大歌声喫茶へようこそ! (連携) まつえ市民大学連携講座 定員 50名 会場 音楽棟音楽室

唱歌・童謡から歌謡曲まで、アドバイスを交えながらみなさんで楽しく歌を歌う講座です。

開催日・時間	講師
7.27 (土) 13:00 ~ 14:30	渡邊寛智 短期大学部 保育学科講師 渡邊芳恵 鳥取短期大学非常勤講師

15 文化資源探求講座:平田の町と裏を訪ねる 定員 20名 会場 学外

平田周辺の町や浦には、知られざる魅力的な文化資源が眠っています。康国寺庭園からスタートし、十六島のロシア兵の墓、風車公園、映画「白い船」の舞台となった塩津小学校、唯浦の義勇碑、本陣記念館、木綿街道、宇美神社、そして巨岩がご神体の立岩神社を、1日かけて巡ります。

開催日・時間	講師
11.23 (土) 9:00 ~ 17:00 (8:45 大学集合)	小泉凡 小泉八雲記念館長・本学名誉教授 岡部康幸 NPO 法人出雲学研究所会員・元山陰中央新報社論説委員・本学非常勤講師

*参加費 3,500円(入館料・昼食費等。当日徴収します)申込多数の場合は、初めて本講座に参加される方を優先します。

16 社会的養護と島根県の里親 [全2回] (連携) まつえ市民大学連携講座

島根県の社会的養護(保護者がいないかたり、虐待などにより家庭で生活できない子どもたちを公的責任で社会的に養育すること)の状況を概観するとともに、これからの社会的養護の中心である里親養育の実際を里親さんの語りから確認します。

開催日・時間	プログラム	講師
① 5.12	社会的養護と島根県の里親~制度と現状~	藤原映久 人間文化学部 保育教育学科准教授
② 5.19 (日)	里親養育の実際~里親さんと語ろう~	2~3名 松江地区里親会または島根県里親会

対象 社会的養護、里親制度に関心のある方 定員 50名 会場 同窓会館カメリアホール

申込方法

受付期間 2019年 4月1日(月) ~ 4月15日(月) 当日消印有効

1 右記の必要事項を明記の上、郵便・FAX・メールのいずれかの方法でお申し込みください。

- ①希望講座名(何講座でも可) ②住所 ③受講者氏名(フリガナ)
- ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号(日中の連絡先)
- ⑦メールアドレス ⑧交通手段

※18歳以下の方は、学校名、学年、保護者氏名もご記入ください。
※お申込みの際にお預かりした個人情報は、椿の道アカデミー以外には使用いたしません。

2 本学より受講決定の可否について通知書をお送りします。(4月末頃)

3 椿の道アカデミー会員★にご登録ください。
(年間登録料 2,000円。登録方法は受講決定通知書内でお知らせします)

※県立大学・島根大学の学生、高校生以下は登録料不要です。
※受講決定は先着順に行います。 ※申込が少ない場合、講座を中止する場合があります。

★公開講座のほか、キャンパス内の図書館等が利用できます。また講座中の事故によるケガを傷害保険により補償します。

椿の道アカデミーHP



申込み先・お問合せ

郵便 〒690-0044 松江市浜乃木 7-24-2
島根県立大学
松江キャンパス 公開講座係
FAX 0852-20-0267
メール tubaki@u-shimane.ac.jp
お問合せ TEL 0852-28-8322
(土・日・祝除く 9:00~17:00)

椿の道

2019年度 島根県立大学 松江キャンパス 公開講座



島根県立大学マスコットキャラクター オロリン



「椿の道アカデミー」は、島根県立大学松江キャンパスによる、地域の皆さまのための公開講座です。さまざまなライフスタイルに合わせ、幅広い時間帯と多彩な講座をご用意しています。「学び」のひとときを、どうぞ一緒に!

受講料 無料

登録料のみ ※一部有料講座あり

アカデミー



島根県立大学 島根県立大学短期大学部 松江キャンパス

URL : http://matsuec.u-shimane.ac.jp/

しまね地域共生センター

Shimane Center for Enrichment through Community, The University of Shimane Junior College

キャンパスへのアクセス

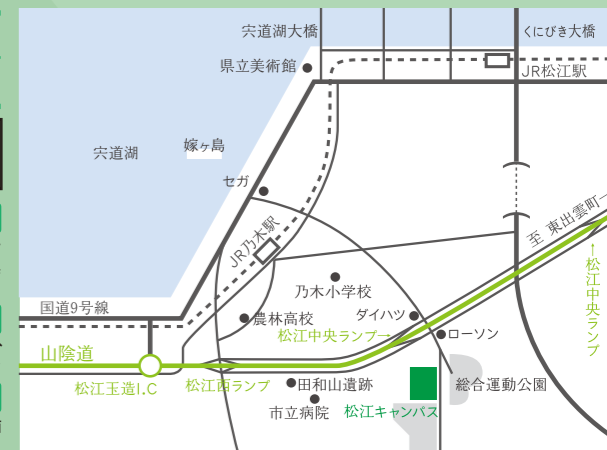
駐車台数が少ないため、公共交通機関をご利用ください。

市営バス(1番のりば・南循環外回り)約30分。「県立短大前」下車、徒歩1分

JR松江駅から車で15分/JR乃木駅から車で5分

松江玉造1.C 松江南ランプ 田和山遺跡 総合運動公園

松江中央ランプ・松江西ランプより車で約2~3分



1 総合文化講座 [全7回] **連携** まつえ市民大学連携講座 **定員 60名** **会場** 大講義室 (9.25は体育館研修室)

本講座は、松江キャンパスの総合文化学科・地域文化学科の教員がそれぞれの専門分野から「文化」についてお話しします。また、今年度より毎年入れ替わりで、2学科の全教員が担当致します。多彩な講義をぜひお楽しみください。

開催日・時間	プログラム	講師
① 6.5	ことばのバリアフリー：やさしい日本語	高橋純 人間文化学部 地域文化学科教授
② 6.19	万葉集のことば：額田王と人麻呂の歌	山村桃子 人間文化学部 地域文化学科講師
③ 7.3	小泉八雲と白樺派の人々	小泉凡 小泉八雲記念館長・本学名誉教授
④ 7.17	図書館情報学と地域社会	木内公一郎 人間文化学部 地域文化学科講師
⑤ 9.25	法律と文化：著作権法と図書館の目的	石井大輔 人間文化学部 地域文化学科准教授
⑥ 10.16	アメリカの視点から見た日本	ラング クリス 人間文化学部 地域文化学科准教授
⑦ 11.13	出雲文化とフォニックス	ダスティン キッド 短期大学部 総合文化学科講師

2 出雲神話の語る神話・伝説 [全5回] **連携** まつえ市民大学連携講座 **定員 60名** **会場** 体育館研修室

わが国唯一の完本風土記、出雲国風土記には多くの神話・伝説が収録されています。もとより出雲国独自の神話・伝説が圧倒的に多いのですが、中に記紀神話と関わるものもあり、興味深い問題を含んでいます。

開催日・時間	プログラム	講師
① 6.21	国引き神話	藤岡大拙 本学名誉教授・元学長・NPO法人出雲学研究所理事長
② 7.19	比売埼伝説と意宇郡の地名神話・伝説	
③ 8.30	加賀神埼神話と嶋根・秋鹿・楯縫郡の地名伝説	
④ 9.20	綾門日女命・真玉着玉之邑日女命神話と出雲・神門郡の地名神話・伝説	
⑤ 9.27	熊谷・三沢地名神話と飯石・仁多・大原郡の地名・伝説	

*初回にテキストを販売します。加藤義成校注「出雲国風土記」(報光社)1,362円

3 椿の道読書会 [全9回] **定員 15名** **会場** 図書館棟ラーニングcommons

毎回、1冊、課題図書を読んで来てもらって、その本についての感想を話し合います。課題図書は、それぞれがオススメする本など話し合いて決め、様々なジャンルのものを読みます。学生との合同読書会も予定しています。

開催日・時間	講師
① 5.20 ④ 8.19 ⑦ 12.16	北井由香 本学図書館主任
② 6.17 ⑤ 10.21 ⑧ 1.20	
③ 7.22 ⑥ 11.18 ⑨ 2.17	
月 14:00 ~ 16:00	

4 はじめての古文書 [全5回] **対象** はじめて本講座を受講される方。 **定員 10名** **会場** 体育館ミーティングルーム

江戸時代に作成された文書の大半はいわゆるくずし字で書かれています。今日ではくずし字を読むことは特別な技能となりましたが、かつて読み書きできる人は誰もがくずし字を読み、書いていました。本講座では、寺子屋方式でくずし字の読解に挑戦します。未経験者を対象とした講座です。

開催日・時間	講師
① 5.30 ③ 10.17 ⑤ 2.20	杉岳志 人間文化学部 地域文化学科講師
② 7.25 ④ 12.19	
木 13:00 ~ 14:30	

*初回にテキストを販売します。天野清文・実松幸男「はじめての古文書教室」(天野出版工房/吉川弘文館(発売)、2005年)2,592円

5 古文書を読む [全4回] **対象** 昨年度の「はじめての古文書」を受講済みの方 **定員 10名** **会場** 体育館ミーティングルーム

古文書を輪読します。「はじめての古文書」受講済みの方を対象とした講座です。

開催日・時間	講師
① 6.27 ② 9.26 ③ 11.21 ④ 1.23	杉岳志 人間文化学部 地域文化学科講師
木 13:00 ~ 14:30	

6 柔道あそび in English **連携** まつえ市民大学連携講座 **定員 10名** **会場** 鳥根県立武道館 柔道場

柔道はオリンピック競技として世界中で親しまれています。今講座では、英語を用いて柔道に親しむことを目的とします。ゲストティーチャーは、世界の柔道場を渡り歩いてきた植波先生です。体を動かしながら、柔道と英語に親しんでみませんか？

開催日・時間	講師
8.6 火 10:00 ~ 12:00	西村健一 人間文化学部 保育教育学科准教授 ダスティン キッド 短期大学部総合文化学科講師 植波 翔 てんと虫カルチャースクール
対象 小学3・4年生 *参加費 800円(保険料)	

7 柔道で健康生活！～転倒・骨折予防～ **連携** まつえ市民大学連携講座 **対象** 60歳以上で自分で運動ができる方。

心身を元気にして健康生活を送りましょう。例えば、転倒・骨折予防には、柔道の動きを取り入れた運動が最適です。適度に筋肉を動かしながら、柔らかく転がる動きを通して、心も体も健やかに過ごすコツを覚えましょう。

開催日・時間	講師
8.6 火 13:30 ~ 15:00	西村健一 人間文化学部 保育教育学科准教授 福田 悟 松江北高等学校 柔道部コーチ
*運動のできる服装でご参加ください。参加費 800円(保険料)	

8 地域社会の心理学III [全3回] **連携** まつえ市民大学連携講座

地域社会への心理学の応用について、特に社会心理の立場から紹介したシリーズの第3弾。

開催日・時間	講師
① 9.26 木 15:00 ~ 16:30	飯塚由美 短期大学部 保育学科教授
② 10.4 金 15:00 ~ 16:30	
③ 10.25 金 15:00 ~ 16:30	

定員 20名 **会場** 3号館第2視聴覚室

9 しまね消費生活まちづくり講座 [全2回] **連携** まつえ市民大学連携講座

毎日を過ごしやすい「まち」するために、知っているようで知らない島根の魅力や、消費生活から再発見できる機会となるように、新たな視点をご提供したいと思っています。

開催日・時間	プログラム	講師
① 6.13 木 18:20 ~ 19:50	安心できる消費生活環境のつくり方	藤居由香 人間文化学部 地域文化学科准教授
② 7.11	資源豊かな島根産の景観材料の魅力	

定員 30名 **会場** 大学会館第2PC 演習室

10 ワープロソフトWordで作る簡単なチラシ [全4回] **連携** まつえ市民大学連携講座

デザイン専用のソフトがなくても、「Word」で写真や文字の配置を工夫することでビジネス文書とはまた違った「お知らせ」や「チラシ」を作ることができます。Wordをもう少し活用したいと思っている方向けの講座です。

開催日・時間	プログラム	講師
① 5.22	ワードの基本操作・設定	小倉佳代子 本学非常勤講師
② 5.29	画像の加工・文字の配置	
③ 6.5	チラシ作成	
④ 6.12	チラシ完成・印刷の設定	

*初回にテキストを販売する予定です。

対象 パソコンの基本操作ができる方。 **定員 10名** **会場** 大学会館第2PC 演習室

11 資格取得を目指す、表計算ソフトExcel初級講座 [全9回]

「Excel」をなんとなく使っているけど、もう少しちゃんと使えるようになりたい！という方向けの「Excel」の基本を学ぶコースです。中央職業能力開発協会主催の公的資格「コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級」取得を目指します。(受験は任意)

対象 エクセルを使用したことがあり、表やグラフをきちんと作りたい方。

開催日・時間	プログラム	講師
① 5.20	セル・行・列の操作、計算式	小倉佳代子 本学非常勤講師
② 5.27	関数①	
③ 6.3	関数②	
④ 6.10	表の作成	
⑤ 6.17	並べ替え	
⑥ 6.24	グラフの作成	
⑦ 7.1	「コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級」試験対策①	
⑧ 7.8	「コンピュータサービス技能評価試験表計算部門3級」試験対策②	
⑨ 7.22	試験	

*初回にテキストを販売する予定です。受験希望の方は受験料が必要です。

定員 10名 **会場** 大学会館第2PC 演習室

12 資格取得を目指す、ワープロソフトWord応用講座 [全11回]

仕事で利用することが多い「Word」を、さらに活用するための上級者コースです。中央職業能力開発協会主催の公的資格「コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級」取得を目指します。(受験は任意)

対象 日常的にワードを使用している方で、さらに技術の向上を目指したい方。(基準:タイピング速度400字/10分～)

開催日・時間	プログラム	講師
① 10.2	ワード操作の確認、ファイル・フォルダ操作	小倉佳代子 本学非常勤講師
② 10.9	文字入力・編集	
③ 10.16	書式設定、インデント	
④ 10.23	段組み、作表	
⑤ 10.30	複雑な作表	
⑥ 11.6	図形・テキストボックスを利用した地図作成	
⑦ 11.13	画像の配置、ページ設定	
⑧ 11.20	「コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級」試験対策①	
⑨ 11.27	「コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級」試験対策②	
⑩ 12.4	「コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級」試験対策③	
⑪ 12.11	試験	

*初回にテキストを販売する予定です。受験希望の方は受験料が必要です。

定員 10名 **会場** 大学会館第2PC 演習室